

# 「シン・馬居家の食卓」ただいま準備中です

「新・馬居家の食卓」は2015年4月に開設した馬居教育調査研究所のキーコンセプトの具体像（人口減少時代を拓き開く家族のモデル）を問うサイトになることを願って設置しました。そのスタートとして、友人の漫画家の長野亨氏に、私の家族の今（2015年現在）を手掛かりに、新たに目指して欲しい家族の姿を描いてもらいました。それが私と妻を囲む7人の大人と5人の子どもが食卓を囲む「新・馬居家の食卓」のイラストでした。

尊敬する漫画家長野亨氏によって、本研究所が希求する人と人（あいだ）の姿が、一人ひとり異なる表情、視線、手足の動きによって見事に表現されました。

嬉しいことに、研究所を訪問いただいた方から、親しみを込めた感想を最も多くいただいたのが「新・馬居家の食卓」でした。

そしてありがたいことに、10年の年月をへて迎えた2026年元日はさむ9日間（12月27日～1月4日）に、長女、次女、長男の順に、三つの家族が日を分け合って、そして国外にいる次男の家族はSNSにて、妻と私のもとに集ってくれました。

4人の子どもたちは、それぞれがパートナーとともに独自の家族を育み、あわせて9人の子どもたち（＝従姉妹と従兄弟）の親（＝叔父と叔母）になりました。

そして、本年秋に、妻と私による家族の誕生から50年を祝う馬居家5家族19人の集い（金婚式）を4人の子どもたちが開催してくれることになりました。

非常に嬉しく、また感謝の思いで新たな年を迎えることができました。

しかし、このことは、長野氏が描いてくれた「新・馬居家の食卓」にかわって、

i 未経験高齢期（年金生活者2人）に挑む妻と私

ii 親として家族一人ひとりの職と学びと生活の場の課題に挑む4人の子どもたち

iii 性・年齢・好み・得手不得手・遺伝子の組み合わせ（無限の可能性の確率）に

挑む、子どもたち4人の家族に生まれた9人の子どもたち（従姉妹と従兄弟）

妻と私が創った家族は、5種の家族として独自の時空を創造し、さらに次々と新たな家族の時空の創造への道を歩み始めることになるでしょう。

「新・馬居家の食卓」の終わりではなく「シン・馬居家の食卓」への歩み（進化？）の記録として描き続けるために、「ただいま準備中です」と案内させていただく理由です。

「シン・馬居家の食卓」は、秋に予定している「金婚式」の準備の報告から開始したいと思っています。

ご期待ください。